東京薬科大学新聞

発行所
東京薬科大学
新聞会
男子部
新宿区柏木4－600
TEL（371）2311
女子部
台東区上野桜木町31
TEL（821）4004
発行人 井澤 達雄

自治会の危機を認識せよ

男子部

選管委が総辞任

大学側の強硬態度で

—男子部—

今回、男子部執行委員長立候補の公示を大学側が差し止めた事について学生側では異例な措置として大きな反響を呼び起している。当新聞会はこの事態を重視し大学側、学生側、そして選挙管理委員会の意見を良く聞き、次の主張を持つものである。

非常識極まる公示差し止め

大学側がこの公示差し止めという態度に出た事について、その経緯、理由は既に選挙管理委員会の経過報告のパンフレットも配られた事であり良く承知されている事と思う。大学側は公示差し止めの理由について、福富君が羽田事件で逮捕され、現在処分保留の保釈の状態にある事、委員長たる者は矢張りある程度以上学生の本分を全うしている必要がある事、全学連に関係して動いた前歴がありかつ現在ある程度行動を続けている事、又、彼が立候補し若し信任されれば東薬全体に左翼のレッテルが貼られる可能性があり、従って就職に暗い影響を与えるという事、（選挙管理委員会経過報告）等を上げている。

併し、以上の理由で公示差し止めの行為に出た大学側の態度は果してその保正当であるとして認める事が出来ようか。否、我々は到底認める事は出来ない。何故ならそれは「大学」としての本分に損する行為だからである。執行委員長を信任するかはあく迄我々学生が決めるものであり、如何なる理由を以てしても斬く迄大学側が介入して来るべき性質のものではない。福富君が若し大学側の云う通り自分達の執行委員長として不適格な人物なら当然学生は不信任とするであろう。学生達に審判を任せないというのは全く大学側が学生を無視した事であり、学生にとっては自分達に対する侮辱以外の何ものでもない。

学生は大学が適当であると認めた者でなければ信任不信任する事が出来ないというのであろうか。学生は唯薬学のみを真面目にやり授業料をきちんと納めておれば卒業させてやり就職の世話をしてやるというのだろうか。そういった教育的な態度で大量に送り出した薬剤師が現在社会の中で如何なる失態を演じているか、大学側はそれを本当に認識しているだろうか。

一体に、公示を差し止める等、学生の人格、学生の良識ある判断力、選挙権を有する社会人としての我々を無視する様な行為が臆面もなくまかり通る様な大学が何処にあろうか。我々は少くとも「東京薬科大学」という「大学」に学んでいる者である。「大学」はその中に住む人々が其々自分の責任ある言動の下に於て自由であるのが本当だろう。

我々は東薬を愛する。自分達の学び舎を愛さぬ者があろうか。そして我々は東薬をもっと大学らしくする為に真剣に努力したい。その事については恐らく大学側と我々は意見を同じくする筈である。大学側の今度の措置も多分かの報告にある通り就職を心配しての「親心」であろう。併し、学生の自主権を侵害し、学生個人の自尊心まで傷つける如き「親心」は到底我々の受け入れるところではない。したがつて、我々は今回の措置に対して大学側の猛省を促す次第である。

公的立場を忘れた選挙管理委員会

今回のこの事態に至つたのも選挙管理委員会にも重大な責任があると思われる。まず第一に特別委員会であるこの選挙管理委員会が成立した公示もされなかつたし、選挙管理委員会は二十一日不明瞭な状態の侯補者の総辞任した。総辞任当日、同委員会はその理由、解散に至つた経過をパンフレットにして全学生に配布した。それに依れば、二回目の公募が行なわれた一月に福富君(3)が立候補の意志を表明したが、その後彼が羽田事件で逮捕されるという事件が起り一時うやむやな事態になつた。併し、四月になつて彼が再び正式に立候補したが、大学側は福富君個人についての理由を幾つか上げて、その公示を差し止めた。管理委員会はその行為を不満として折衝を行なつたが、大学側は認めない。「又、福富君が信任されても大学側は認めない。」「若し委員会が公示を強行すれば責任者を処罰する」「福富君が信任に、委員会は止むなく引き下つた。大学側は、福富君以外の者ならかまわないという意向なので、これ名代表者と認める自治会に対し、委員会解散止むなきに至つたのである。学生差の審判を無視した大学側のこの公示差し止めの措置は多くの学生から非難が出ており、とも角、本学男子部自治会は創設以来最悪の事態に陥入つたといえよう。また、この度の選挙管理委員会のとつた態度は多くの非難を受けている。選挙管理委員会の辞任により、自治活動の停止、大学の自治における多くの汚点を残す事態に直面している。

学生に聴く

今度の次期男子部執行委員長に福富陸一君(三)が立候補し、その信任投票が四月十八日(月)に行われる予定であつたが、大学当局が福富君個人の問題が認識不足、甘んじている間は、大学側から何と干渉されようと致し方ないではないか」とすごくるげないね。すこし読みが浅かつたんじゃなかろうか、もし福富君が信任されたとしても、何かの悪いことがあれば学生はついゆかない。東薬生はそういう点、大人というか、ずるいというか、そういうものを持つているからね。福富君が執行委員長になれば大学の名前が当然彼の行動による表に出るからと心配もある様だが、それは東薬生個人々々の自覚の問題であつて各人がしっかりしていればいいんじゃないのか。

又学生間で就職のことを心配している人もいるが、これも前述の理由と同じさ。現在の様にオナサケにすがつて就職しようなんて根性のやつらが多い様ではめ、まず何と言つても学生自身の自覚だよ」

とも角今度の公示差し止めについては全体的に見て、福富君個人を支持するが為にあの行為を不当だとする者は少く、たゞあの行為が我々学生の良識を信ずず、我々学生の正当な自主権を侵害するものであるという理由で大学当局を非難するものが圧倒的だ。

次に総辞職した選挙管理委員会に対する意見を伺うと、これは誠に風あたりは強い。まず三年N君はまず選挙管理委員会のヒラについて「あのヒラはあたかも大学側の主張を弁護し、宣伝しているかの様にあまり感心できないな。」といい又「あんな形で辞めるなんて全く無責任もはなはだしい。」と手きびしい。三年梅本君も「なぜもっと早くこの状態を学生に知らせるべく学生大会を開かなかつたのか。それで自分達の立場がますますなくなつたからといつて辞めるなんて無責任だ」と選挙管理委員会の無責任な態度を非難していた。この他選挙管理委員会を非難する学生も多いが、又一方、選挙管理委員会が何故学生大会を開いて討議しなかつたか疑問をもつ学生の数も多い。一般に今日迄、学生と執行部との連関の薄さから学生大会への道が閉ざされているということも考えられるが、自治会機構の複雑さを挙げていた学生もあつたことは見逃せない様である。

いずれせよ三年梅本君もいつていた様に、自治会は現在過渡期に来ている様だ。

この事件が一般学生の間で、今迄と見られなかつた即ち二つの問題が大部分の学生に何らかの形で意見を持つように挙らしめたことは事実である様だ。これを見にして、これを転期として、学生と自治会とが密接に結びついた形となり、東薬生の新段階への脱皮となろうと見る向も相当数ある様だ。

〝親心〟は不当な介入

自治委による事態収拾を

又大学当局に必要以上の恐れと気がねを感ずる学生があまりにも多い。もつと大局的立場にたつて正々堂々と行動したらどうだろうか。個人的には今度の大学側の態度を不当と感じながら、就職という面を考慮してか、おもてだつて抗議しようとしない態度にも学生の利己主義が根強く感じられる。ちつぽけな製薬会社に入りたくもらいたいがためにのいうがままに動く人間になつてたまるか。活動意欲のない自主性のない人間が社会（会社にも）要求されていると思つたらそれは大きなまちがいである。

今年は丁度十周年の年である。薬剤師の分野がせまい範囲から解脱して発展するためには今までの大学側と学生のとつてきた態度をかえることが先決問題である。物事を正しく見、正しく判断し、自分の良心にしたがつて行動する事が現在の東薬生に欠けているかどうか今後の我々の態度で決定されるであろう。

くりかえしいうが我々には、不当なものは不当であると抗議し、話合いによつて解決するという正当な権利がある筈である。そのためにも全学生一人一人の協力が必要とされるのである。願わくば各自の自主的な態度で責任をもつて、人間の権利を十二分に行使するよう要望する。

今回の経験を決して無意味に終らせてはならない。こゝで全学生はより良い「東京薬科大学」への発展の為に熟考せねばならない。私立薬学の雄を誇る「東京薬科大学」のこれからの運命は我々の手の中にあるのだから。

× × × × ×

× × × × ×

我々の自治権を守ろう

今度の事態を真剣に考えてもらいたい。我々は、福富君個人対して云々しているのではない。この問題はそれ以前の問題であり自治権剥奪の恐れが多分にある。

我々は候補者に対して自己の判断で責任をもつて投票することが出来ないのか。信任の判断すら我々に出来ないのか。立候補出来る権利と投票する権利まで我々は放棄するのか。我々は我々の人格を信じたい。だからこの基本的な人格まで無視した大学側に対して我々は怒りを感じるのは当然である。大学側の態度は、我々が我々の一票で政治家を国会に送ることすら干渉していると考えられ、我々の人格すら認めていないといえよう。なぜ

〝不当な処置〟が圧倒的

選管委にも非難集中

東薬戯評

小西さんが当選

—女子部執行委員決る—

本年度女子部執行委員長選挙は男子部執行委員長信任投票を前にして大混乱をしているのに反し全く予定通り、二月十七日立候補届出締切り、小西昭子（三）、千葉睦子（四）両候補が届出をすませ、二月十九日に立会演説会が行われ、千葉、小西両候補のおだやかな方針が発表され、その後、選挙で小西候補が千葉候補を全く圧倒的多得票にて新執行委員長誕生となるに至つた。小西、千葉両候補とも、その実行力に富んだ積極性で尚く評価されていたさけに非常なる接戦が予想されていた。いづれにせよ新執行委員長の積極的活動が十分生かされれば、本年度女子部自治会にとつても明るい年度となりそうである。

小西新執行委員長は、次の各委員を任命、この四月一日よりその任務に当ることとなつた。

執行委員長	小西 昭子(3)	
副執行委員長	千葉 睦子(4)	
同	曽根 順子(3)	
庶務	佐藤 章子(3)	
厚生	赤沢 菊枝(3)	
図書	山本日出子(2)	
会計	小川 準子(3)	
同	西村 櫂子(3)	
同	庄田 澄子(3)	
書記	鈴木 孤子(2)	
同	青木 道代(3)	
薬連	中村依登子(3)	
学友会 文化	原田 昌子(3)	
学術	河野 静江(3)	
体育	堀川 和子(2)	
情宣		

この情宣部は、二月五日に開かれた女子部定例学生総会決議事項に基づいて新らしく設けられたもので、規約改正についての任務に当り、部長の下に小委員会が設けられる予定である。

おことわり

本号は、主要記事が男子部々内の問題でありますので、当新聞会も男子部会員のみが企画、編集致しました。右の理由により本号の配布は原則として男子部のみでありますので御了承願います。

新聞会

純喫茶
ステレオ音楽で
醸いの一時を
御利用下さい
エルザ
東薬男子部前
TEL（368）1038

お菓子のことなら
喜久月へ
台東区谷中町八番地

コーヒーと音楽
アマーテ
大久保駅ガード下

ズボン・スカートはこれで洗う！
テトロン・毛・ナイロン用液体洗剤
ペレゲン
パラゾール・白元本舗
H.A
• 洗浄力3倍！漬けて軽く押し洗いするだけで汚れはキレイに落ちます
• お洗たくのさい、汚れの再附着がないので、すすぎがとても簡単です
• テトロンや毛のズボン・スカート・毛布等をご家庭で手軽にお洗い下さい
100円でズボン16本・毛布8枚が洗えます。

博友社 東京都新宿区柏木町九 振替口座 東京240番

文学博士 木村謹治 文学博士 相良守峯 編
木村相良 増補 独和辞典
本書の内容については各大学の教授方がそゝ推奨されていることによつても証明される。新語三千を増補してますます完璧。独語を学ぶ者には、欠くことのできぬ必携の独和辞典である。
【特色】中型として最高の語数（十三万語）最新の新語い・一般辞典にない方言俗語文法上の機能の詳述熟語例文の豊富。
¥七五〇・千四〇・携帯版・ビニカフ装・ビニールカバー付総貫一六九〇頁

東大名誉教授 慶大教授 相良守峯 編
大独和辞典
独語辞典界の最高峯相良博士他、各大学の権威二十名と渡独中の留学生が七年の歳月をかけて完成した最新にして最大の辞典。これ一冊あれば一と自他ともにゆるす本邦独和の絶対決定版。
【特色】豊富な語数（二〇万語）百科辞典的内容（新語から古語）発音辞書として完備。又解の適用日本訳と同意の独語。
¥三五〇〇（総革装）¥二五〇〇（上製）¥二五五・菊判・特すき上質紙・一八二四頁

文学博士 木村謹治 編
和独大辞典
独語辞典界の泰斗木村博士が心血をそそいだ大辞典、用例四十一万・文例五万八千とあまねく収録し、ドイツ本国でも利用されている。唯一の和独の決定版。
¥三〇〇〇・千五五・A5判・総クロース・二六五〇頁

前東京外語大教授 増田俊雄監修 明大教授 尾上貞五郎著
ポケット仏和辞典
収容語数四万七千、ポケット版として最大限度の内容を完備。語義も内容別に分類し引き易く訳語訳文も平易な口語で成句用例も豊富と今評判の仏和辞典
文学博士 小柳司気太 編
¥四〇〇・千二四・携帯版・総革装・六九四頁

新修漢和大字典
漢文を広く深く学ばうとする人に好適の大字典。重要漢字一万八百余の故事・熟語・成句等を詳解した
¥二一〇〇・千五五・四六判・総クロース・二一五〇頁

文学博士 小柳司気太 編
新修漢和辞典
大字典を簡略にし一家一冊をモットーに編さんされた。高校生から大学・家庭用までの一般普及版。
¥八〇〇・千五五・三六判・総クロース装・一四四〇頁

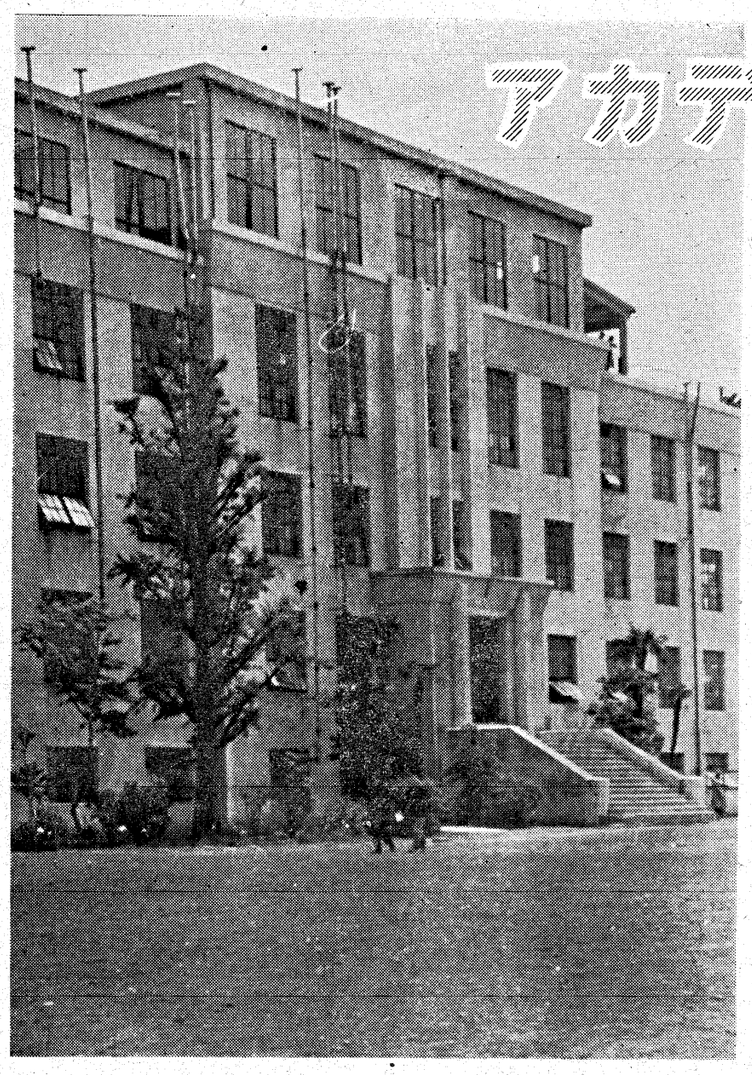
化学大辞典
全9巻
特価予約募集
■ 周到綿密なる企画・編集に10年の星霜を要した。
■ 420余名に及ぶ大規模な編集執筆陣を構成した。
■ 基礎から応用まで（理学・工学・農学・医学・薬学等）関連全分野を網羅，7万項目を収録した。
■ あらゆる面からみた用語の種類を網羅するとともに，豊富な図・表を用いて高度の内容を平易に解説し，常に一貫した精神で広い立場から説いた。
■ 学生はもとより研究，生産関係者必備の一大宝典

関連全分野に及び，7万項目を網羅収録した空前の一大宝典
化学大辞典編集委員会編 編集委員長 水島 三一郎
〔各巻〕A5判・上製・6号活字横組 21字×56行×2段組・平均1100頁 特抄上質紙使用・豪華特装本函入 上製3,500円・特製4,000円（革製）
予約特価 上製 3,000円
〃 特製 3,500円
全巻前払 上製24,000円
〃 特製28,000円
予約期限 6月末日（第2巻発行直後）
期限後は毎巻払、全巻前払とも予約申込みを締切ります。ご予約の方は至急最寄書店又は直接小社までお申込下さい。申込金不要。
第1巻・発売中
以後3カ月に1巻宛刊行致します
共立出版株式会社 東京都神田局区内駿河台3の9 振替口座 東京57035番
内容見本・お申込次第送呈

特集

アカデミズムの危機の為に

現状の認識と前時代的風潮の追放を



はじめに

今年度は今更云うまでもなく東薬にとつて創立八十周年の記念すべき年にあたる。明治十三年、旧丸岡藩士藤田正方が自宅で薬舗開業志望者のための教育を始めてから、やがて東京薬舗学校の創設を見、そして東京薬学校、専門学校更に薬科大学と、過去の偉大な先輩達のたゆまぬ努力が受け継がれ遂にこの輝やかしい伝統を打ち立てた。この栄えある歴史は文字通り日本の薬学の発展の歩みである。私達はこの誇るべき歴史の中に学んでいる訳である。

併し、今一度私達が東薬の現状を率直に見回す時、其処にはこの輝かしい歴史と余りに対照的な淋しい現実を見出さざるを得ない。

急激な変貌と進展を見せる薬学矛盾の解決されぬ侭に拡充を続ける業界、制界等に圧倒され、戦後の思想の混乱に絶え間なき動揺を続け、ともすると東薬の独自の気風と過去の先輩に溢切つていたあの薬学精神はそれ等の中に没し去ろうとしている。云うなれば東薬の危機とでも称せられようか。其処には、薬剤師としての社会問題の他に、薬学の問題、又大学のあり方の問題、薬学教育の問題等山の様な難問が行手を阻んでいる。私達の卑近な例を上げるならば、私達の技術的進出分野に対する不安感、開局志望者に見られる一種の老人じみた締観、薬学の領域の曖昧さとその主体性の弱さが為の薬学に対する向学心の弱さ。そして私達自身の問題である自治意識の撤底した薄さ、概して云つてしまうれば、東薬全体の甚しい気力喪失。此等の問題は当然私達学生だけで解決出来る様な問題ではない。学界や業界、更にその底流にある現在の日本の精神的な面からの解決が必要であろう。事実、其等は統一と安定を求めて常に積極的な動きを示している。私達薬学生がそういう動きに何等積極性を示さないのは如何にも不当である。私達がこの東薬の大学として現状に充分満足しない限り改革していくのが当然ではなかろうか。東薬生の中にも自分達のこの身の周りの諸問題と真剣に考え、自分達の若さとエネルギーをかけて取り組んでいる者が少くない。併し此等に対処するに当つて最も肝要な事は、八十周年という伝統に比較して余りに悲しい東薬の大学としての現状をはつきり意識し其を考える学生が一人でも多くなる事である。東薬の為に、又、私達自分自身の為に新聞会はこの企画を持つた次第である。

（男子部編集局）

大学とは何か

東薬に「大学らしさ」が無い、という事をはつきり認識する為に、そして今後東薬を「大学らしく」していく為に、私達に先づ「大学とは何か」という事をはつきり知る必要がある。

「大学とは何か」という問に対して私達は可成常識的に幾つかの答えを持つ。例えば、最高学府であるとか、真理探求の場であるとか、又、東薬の如く応用科学の一分野を受持つ所に於ては、社会に直結するべきその分野の最高の知識を与える場であるとか、色々云われるであろう。そも、大学について最初に体系的に論じたのは、ドイツ観念論哲学者達であつた。彼等は第一次大戦によつて荒廃した国土に立つて熱烈に学問の復興、大学の復興を叫んだ。「大学は如何にあるべきか」という問題は、彼等の優れた学問が戦争という破壊力にのみ利用された為、当然深く考えるべき問題であったのだ。J・ヤスパースはその著「弁明と展望」の中で斯く云っている。即ち、大学の理念とは、「研究と教授とを一体化し、教師と学生個々の責任ある独立の条件として教える自由と教わる自由を要し、単なる学校事業とそれに関する専門化に堕することなく、生々としたコミュニケイションとの精神的な結いによつて学問の統一を発展させることである。」

大学の理念は遠くギリシヤの昔まで遡上る事が出来ると云われるから、恐らく歴史の上に於て不変のものと云えよう。併し「実際の大学は常に理念から脱落している。如何なる時代にもそれは完結した事がない。」したがつて、大学は常時その大学の理念の完結を求めて永遠の努力を為するを使命とするのであろう。ヤスパースは更に「大学の機能」として次の三つを上げている。一、職業への専門修練、二、人間を目的とする教養学校、三、認識を増加して若い学者を養成することにその意味を持つ研究機関。

此等は大学の基本的性格として今日でも立派に通用すると思われる。そして此等の諸機能を充分にかつ、有効に発揮する為に大学は三つの属性を持つのである。即ち大学の「自由」「自治」「独立」である。

又、コナント博士（元ハーバード大学総長）という人は大学を定義して「職業教育、知識の進歩及指導的市民の一般教育にたずさわるかなり高度の自治と独立を有つ学徒の共同社会」と云つている。したがつて、大学に学ぶ学生は単に教育を受ける者にとどまらず大学という一個の社会の重要な構成員としてそれなりの義務と権利を持つている。大学を単に就職の為の一通路と解したり、国試を受せようとしているのである。即ち「戦後に於ては学問の有効性、実証主義、現実との接点が求められて来た。それは自然科学系のみならず社会、歴史系統に於ても求められ、其処では『合理性、科学性』が尊重されてはいる。併し、其等はしばしば『技術的』精密さの強調であり結果的には『技術主義』を伸展させている。其処から直接の卑近な意味での『有効性』門教育の入門とみている所から来ているのではないか。特に教授がその役割を正しく理解してない様にみえるのが致命的だ。」（朝日新聞夕刊・二・二四）事実、一般教育の理念を種々の教養科目の教授によつて具現する事は可成困難であり、又、一般教育そのものも日本の実情に合わぬとか色々批判されるべき性質を持つのであるが、私達は唯徒らに、「専門外の事だから…」とか、「実用的でないから…」とか云つて一概に敬遠せず、その理念を改めて理解してみるべきであろう。一般教育の目的とその性格について、少し長いが、此処に「一般教育研究委員会中間報告」の一文を引用する。

「前略、しかは一般教育の目的は如何なるものであろうか。既述したところからでも略は推察出来るように、一般教育の究極目標は要するに人間の有するあらゆる能力を統合的全体の観点に於て発揚させ民主社会の一員として人類一般に於ける自己の果すべき役割を知り、広く文化の発展への参加を通じて世界の平和と人類の幸福に寄与出来る立派な人物を養成するにある。併しこれだけでは甚だ漠然たるものであるから理解の便宜上幾つかの要点に分析してみれば次の如くなるであろう。一、己自身を知り無智を排し偏見と我執を撤廃して謙虚な心持ちをもたせる事。二、人生の意義と価値について考究し自由と責任の不可分なることを知らしめると同時に人格の尊厳なる所以を自覚させる事。三、広く文化を理解しこれを摂取出来る能力と態度を養う事。四、文学や芸術を正しく鑑賞し情操を深め教養を豊かにする事。五、表現力理解力、創造力を養い広く文化の交流とその発展に寄与出来る様にする事。六、社会の日常生活の諸問題を分析し批判し自ら解決出来る能力と態度を得させる事。七、社会の種々の問題を科学的に考察し合理的に判断出来る基礎的素養を与える事。八、現代社会に於ける根本問題を人生の価値関連的立場から考察し問題の歴史的位置と社会的重要性を明らかにし偏見や感情に囚われない客観的にして公正な而も自主的にして批判的な実践的判断に役立つ知識と技能を与える事。九、社会的諸要因の相互関連の把握と歴史的発展の全体的見透しについて確固たる認識をもたせ民主社会に於ける立派な市民としての責任と勇気ある行動をとる事の出来る様にする事。十、自由な民主社会の一員として欠く事の出来ない自主性、協同性、適応性を育成し広く理想社会の形成に積極的に参加し得る能力と態度を養う事。十一、人生に対する自然の意味を理解し自然科学的な方法を会得させる事。十二、事象を観察・実験して帰納的に法則を見出しそれを拡充して法則から体系を作る自然科学的方法と、かような方法の持つ限界についても認識させ科学が現在まで到達した進歩の跡を大観して未解決の問題の所在と意義とを理解させ科学の今後の発展の方向を知らしめ将来の洞察に資する様にする事。十三、事象を精確に観察し合理的実証的批判的に思考する習慣を養い常に真理探求への情熱を持たせる事。十四、物心両面に亘る健康な生活を送りうる知識と訓練とを与える自他共に幸福な生活を営なむ事が出来る様にする事、云々」

以上の如き高遠な目的を完全に具現させるのは不可能かもしれないが、私達の卑近な具体例を考えてみても此等の目標に可成近ずき得る事は出来るに違いない。「つまらない」と思いこまれている教養科目をもう一度改まつた気持で真面目に受講した時乾度私達は何か得るものがあつた事を感ずるであろう。東薬に於ける一般教育の諸問題点としては、自然科学系科目が専門課程への予科的な色彩を濃厚に帯びている事、人文、社会系統の講義内容が貧弱である事又、科目に選択の自由が無い事、修業年限の為でもあるが、その強制された科目の単位数はきりきりのものである事等があげられる。此等の問題は、私達学生・教授とが良心的に親密に話し合い協力し合つて解決していくべきものであろう。

「アカデミズム」の危機について

最近、アカデミズムの危機という事が盛んに云われる。アカデミズムの危機は又、大学の危機とも云える。これは大学というものを考えるに当つて直接或いは間接に東薬の実状にも結びつくと思われるから大こうは上述べてみる。

「大学の危機」が叫ばれる所以は戦後の大学の乱立と学生数の膨大な増加、そして危機意識を持つ人々に云わせれば国家の安定化と共にその保守反動的性格が大学の「自由」「自治」「独立」を次第におびやかす様になつた事、応用科学の異常な進歩と軍事科学の復活等々である。この内、学生数の増加は東薬にとつても可成考えるべき問題であろう。定員数を二回つて学生を採る事は私学では殆んど一般的であるが、其に伴う教育上の困難を考えれば少しつつでも是正されていつて然るべきであろう。特に実力のない者が入学して来る事は、その大学の外的な価値を落し、又、教育の本分を損うものである。その結果は本学に於て日頃の講義、実習、そして就職に既に顕著に現われている筈である。

次に学問の場としての大学という点から考えれば、薬学の如く応用科学の異常な発展とその細分化が学問としての主体性と尊厳を失せしめ、大学の本質までも変質させようとしているのである。即ち「戦後に於ては学問の有効性、実証主義、現実との接点が求められて来た。それは自然科学系のみならず社会、歴史系統に於ても求められ、其処では『合理性、科学性』が尊重されてはいる。併し、其等はしばしば『技術的』精密さの強調であり結果的には『技術主義』を伸展させている。其処から直接の卑近な意味での『有効性』と『客観性』が求められ、科学に於ける些末主義が生れる。更に斬うした傾向での『論理』が真の意味での方法論的反省に結びつかないところから、『真の科学』の発展への検討もなく、人間としての全体的発展と技術とは全く乖離する。」（「アカデミズムの危機」北川隆吉、中央公論（月号）、再び東薬を例にとることはなかろう。この問題を観念的に云つて一笑に付すのは余りに軽々しい。この問題については当新聞会では、「薬学教育の諸問題」と共にもう一度深く具体的に取り上げる積りである。

一般教育について

学生達に評判の悪い講義の中で一般教養科目の、特に人文科学、社会科学系統の科目が上げられる。其処では、「講義がつまらないから学生が聞かない」とか、「学生が聞かないから講義がつまらなくなる」という悪循環が常に繰返されている。この原因は両者のいずれかの欠陥に依るものでなく両者のいずれかも欠陥を持つ為であろうが、その根本は戦後導入された「一般教育の理念を教師も学生も良く理解していない為であると云えよう。早大の佐々木教授は云う、「数多くの大学を周つてみた経験から感ずる事は一般教育の軽視だ。例えば大学では人文社会系統の教授陣と講座内容が貧弱だし人文系ではその逆というのが良く見られる傾向だ。これは新しい大学を旧制高校プラス旧制大学という形で安易に考え一般教育を専門教育の従属物としてみる考え方に問題がある。」

専門教育について

「本学は保健衛生の中でも医薬品に関する学問と技術とを修得させると共に一般的教養を与えて将来有能にして道義心の高い薬剤師を育成することを目的とする」

これは本学即ち東京薬科大学の目的・使命である。ところで、私達は、この目的に副つた本学の専門教育・職業教育について少し考えてみよう。私達の専門教育即ち薬学は現在極めて高度に細分化され、薬学自体のその主体性が可成曖昧になっている。専門科目の名をさっと見渡した所でも、その領域が恐ろしい程広範囲に及んでいる事が判る。薬学教育の問題点即ち薬学教育の三分科、又は修業年限の延長等もこの領域の曖昧さの為だし、私達の将来の就職についていえば、その職域において薬学全体を把握してきたものより適切な地位というのは殆んど望めない状態である。調剤のみをやるか、分析屋又は含成屋となるか、あるいは広く浅い知識のみでプロパーや薬局員に満足するか、そんな所しか望めない。そして技術者としての薬学出身者の進出分野は工業化学、農芸化学、理学系統に依つて開局薬剤師の大量生産だけを固守する本学の方針は再検討されるべきだろう。この状況では単なる薬剤師養成学校であつてどう見ても大学とは思えない。業界・制界の要求に応ずる為に専門教育を再考するというのは大学の理念に反し前述した様に学問が技術主義偏重に流れるという弊をまぬがれぬが、薬学の進歩とその大きな観点から東薬における専門教育は改めて考えられてしかるべきであろう。

最後に、私達はこの東薬の現状を改めて直視し本来の大学のあり方に向つて一人でも多くの学生が何等かの積極性をかしてくれる様祈り希望する。

投稿

今年度も新入生を迎え新学年の期待を胸に交叉しながら始まったが、毎年何に於同じ様な気持ちで不満が学年末に残る事が屢である。此処で我々がどうして此の様な事を感ずるのかを、反省してみる必要がある。

授業方式に就いて一我々が講義に出て先ず気付くのは、出席率が良くない事である。これは一体何故なのだろうかと考えてみると講義内容の単調さと、前の三列位しか聞きとれない様な声で講義される事に依るものである。此の様な講義は自然、学生を退屈にさせ現在の享楽へと走らせる結果になる。その為に出席率が悪くなつて先生の熱意も低下するという悪循環を繰り返している事は学生並に学校当局の反省が必要である。先ずそれには講義内容の単調さを是正する必要が有りプリント乃至は教科書の棒読み的講義一知識の切り売り授業（特に一般教養に多い）等は退屈以外の何ものでもなく、もつと学生と教授との間、学生と学生との間の討論の場を設けて授業に変化をもたせる事に依りその単調さを解消する事も出来る。殊に一般教養科目に於いては、学生自身が考えてディスカッションをする時間を多くする事の方が、その学科の歴史と概論を知る事よりも有益で興味の有る問題である。討論を通して学生は自己の認識と自覚を喚起し、積極性を持つた人間形成が為され、従来の所謂薬学生の無気力さが、是正されると考えられるから、此の様な授業方式の再考を学校側に要望する。その為にもこの際小教室の利用も同時に再考してほしい。

薬学生の自己満足

薬学生は本業と同時に国家試験を受けて、薬剤師免許を取つたならば、少なくとも生活する丈けの収入が得られる為なのか一般に、無気力である。我々が人間として生命を受けたからには、何にか人間味の有る行動・活動をしてみたいという欲求を本能的に持っているのだが、薬学生には生活する丈の収入さえ有れば、何にもあくせくして将来の事迄も考え悩む事も有るまいと決め込んだのか自己認識の不足に依るものなのか、それとも自己満足をしているのか兎角無気力である。我々は一人の社会人として、この侭で良いのであろうかと、考えざるを得ない。社会人（我々の大半は選挙権を持つて社会に生活している）として、広く社会の動きを洞察し正しい判断を下す為にも、常に第一次集団の中からでも話題を提供し合つて、議論し合わなければならないし、又薬学生としても、将来の薬学、薬業界に就いて若さに満ちた、新鮮な意見を語り合つて、より良い社会にする義務が有るのでは無かろうか。若さに溢れる今こそ、最も理想的な自己認識と人生論を確立させ得る時なる事を我々一人々々が認識しなければならない。それは最終教育過程の位置に有る事に依り実践への可能性も、理想郷のうわ語では決して無いからである。薬学の殿の中に在つても常に社会への準備運動を怠らぬ様に注意し、単なる極め人格の有る薬剤師を社会に送る事が大学の使命ではなかろうか。日和見的な人間は、決して社会のリーダーにはなれないばかりか、誤魔化しと省略の人生を辿る、足手纏な人間としかならない。薬剤師になろうとするものが此の様な人間とならないためにも日和見的な"事無かれ主義"の殿の中で自己満足せずに、人間形成の面に於いても前向きの姿勢を速に、実行、真の意味での大学教育を行う事を、要望致します。

学生課長へ

前号の東薬新聞（二月十九日発行）紙上に、小塚宗輝さんの寄稿文にて安保研究会のポスター貼出に反対する理由として、所謂「資格論」（注）なるものを出して貼出し拒否を行なつたが、この論旨の矛盾と不合理性は小塚さんが鋭く追求されていたので余り云う事は無いが、唯更に附け加えたいのは資格論の無慈悲と相対的矛盾である。資格論を出した学生課長は学生が学生である前に人間であり、社会構成員の一人で有ると云う事を考えて出したのかどうか疑問を抱かざるを得ない。もし考えていたとするならば学生は生産的教養（薬学の専門的知識と同時に社会的教養をも併せ吸収していかなければならない筈なのに資格論は一方的に前者を強いている事は学生の人間性を無視した無慈悲な態度であると同時に学生の人間性を否定した事となり、学生課長の利己と傲慢に他ならない。又相対的矛盾とは、安保研究も他の文化部、運動部と同様に一つのサークル活動であり、夫々が頭の中で思案するか、情操とか肉体活動の違いであって、何等区別する必要は全然無い物である筈の物が、何故安保研究会（現社研）に対してのみ拒否し且つ資格論を出したのか判断に苦しむ、もし資格論を安保研究会に対して適用するならば、他のサークル活動も適用されて然るべき筈なのに適用しないのは相対的矛盾と云えるのでは無いだろうか。

資格論は単に小塚さんばかりではなく、学生の殆んどが不満と不信を抱く何物でもなく、且つ種々の矛盾と不合理性からなつている事から資格論の撤回を要求致します。

（注）資格論とは学生が試験で赤点を取らぬ事が主要な義務なのだから、赤点の一つでも有る者は薬学以外の事に力を注ぐ資格はないと云う論旨

東薬生と学校当局に

四年　島津　厳

学校当局の自己満足

我々が真剣に物事を考えて新しい認識への道を歩もうとする時、学校当局も又、真剣に考えて、従来の方針に固執せず勇敢なる態度で正しい判断の基に薬学の発展と人間形成に努力してほしい。今迄の学校の教育方針は、薬学と云う面に於いては常に前向きの姿勢に努力をしている事は認めるが、人間形成と云う面においては、旧態依然とした専門学校の延長で有つて薬の職人養成に過ぎず、決して大学とは云えない状態である。この状態を続ける限りに於いては、薬学そのものの発展も望めないし薬剤師の地位向上も到底望みがない。日和見的な"事無かれ主義"を放棄して人間性をプラスマ状態にし、その本質を自己満足から脱皮しなければならない。

紳士服と学生服の店
良い生地
良い型
良い仕立
東薬生・卒業生に
限り1割引・分割
払も致します
東薬大指定
有限会社　岩田洋服店
TEL（361）2533

新刊重版
廣川書店
東京都文京区春木町2の6
振替東京82694番　電話（921）1217（929）0591
図書目録進呈

分析化学演習　化学研究会編著　B6判 ¥220
基礎理論の部は問題を多くし懇切に解説。各論の部は問題をはぶき重点をまとめ系統的な復習に便利な書。

有機化学演習　化学研究会編著　B6判 ¥250
官能基によつて分類し横観的に有機化学を学習できるよう覚え易く簡潔詳細に解説した。

生理解剖学演習　薬学研究会編著　B6判 ¥220
生化学、薬物学を理解するために最も重要な生理解剖学の重要事項を重点的に解説。

衛生裁判化学演習　薬学研究会編著　B6判 ¥220
衛生化学、公衆衛生学、裁判化学の要点を問題形式で要領よくまとめて解説。

薬用植物・生薬学演習　薬学研究会編著　B6判 ¥220
学名、科名、成分、薬効、産地などの知識を多方面から検討、整理し応用できるよう解説。

☆昭和35年版☆
薬剤師国家試験学説問題集と正解
＝科目別分類＝
薬学研究会編著　B6判 ¥430
昭和24年5月～昭和34年9月
第1回～第18回
出題された全問題を集録し各部門の権威者が模範解答と懇切丁寧な注釈を付け正解のコツを与えた受験生必読の書。

理論化学演習　化学研究会編著　B6判 ¥200
理論化学の計算問題を多数掲げ丁寧な解答をつけて学生の理解を深めた。

無機化学演習　化学研究会編著　B6判 ¥230
常に駆使できなければならない無機化学の基礎的事項を効果的に演習できるよう問題を多数掲げてやさしく編集した。

生化学演習　化学研究会編著　B6判 ¥280
酵素、代謝、醗酵については特に詳細にしかつ生化学の基礎的重要事項を問題形式で解説。

微生物学演習　薬学研究会編集　B6判 ¥250
多数の抗生物質の発見により薬学における重要な一課目となつた微生物学の基礎的重要事項を問題形式で解説。

薬物学演習　薬学研究会編著　B6判 ¥280
化学的薬理学に重点を置き他課目との関連に特に留意し薬物学の重要事項を問題形式で解説。

薬剤学精選問題と解説　薬学研究会編著　B6判 ¥250
調剤学、製剤学の要点を問題形式に精選集録し薬剤学の基礎を把握しやすく解説。

☆日本図書館協会選定図書☆
有用植物の学名解
東京薬科大学教授　角倉一　編著　新書判 ¥280
薬用、農作園芸用などの有用植物1300種の学名の語源的説明から形態上の特徴や用途を連想させ植物学名の意味を手軽に理解し記憶を容易にさせるハンドブック。